



## 2nm以下の世界最先端半導体の量産を北海道で実現

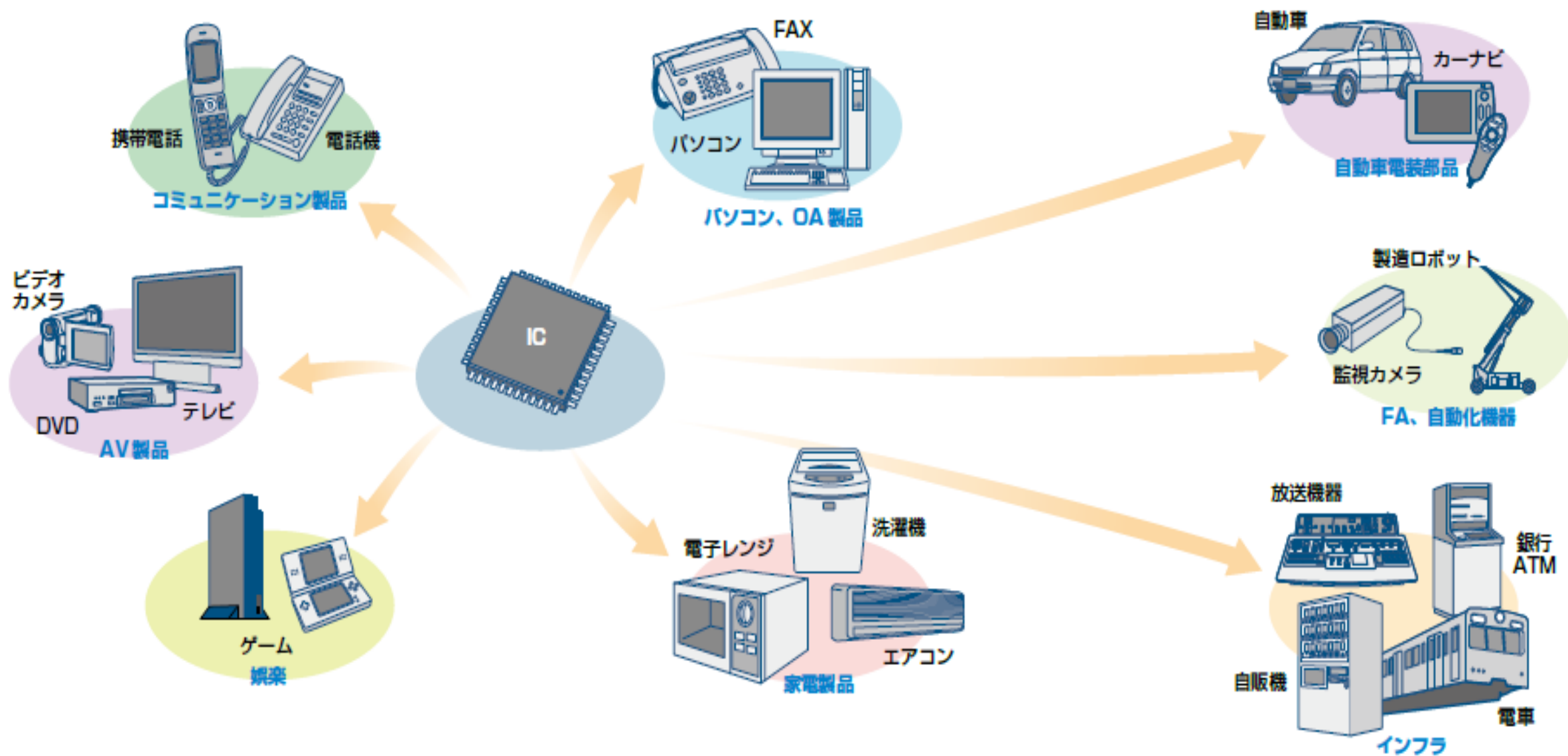
- 設立 : R4年8月
- 所在地 : 東京都千代田区麹町4丁目
- 取締役会長 : 東哲郎 (元東京エレクトロン(株)会長)
- 代表取締役社長 : 小池淳義 (元ウェスタンデジタルコーポレーションシニアバイスプレジデント)
- 資本金 : 73億4,600万円
- 出資会社 : キオクシア(株)、ソニーグループ(株)、ソフトバンク(株)、(株)デンソー、トヨタ自動車(株)、日本電気(株)、日本電信電話(株)、(株)三菱UFJ銀行【8社】
- 事業 : 半導体素子、集積回路等の研究、開発、設計、製造等
- その他 : R4年11月、NEDOの「ポスト5G情報通信システム基盤強化研究開発事業／先端半導体製造技術の開発(委託)」(700億円)に採択  
R4年12月、IBM(米)と戦略的パートナーシップ締結

# 半導体とは

半導体とは、電気を良く通す金属などの「**導体**」と電気をほとんど通さないゴムなどの「**絶縁体**」との、中間の性質を持つシリコンなどの物質や材料のこと。

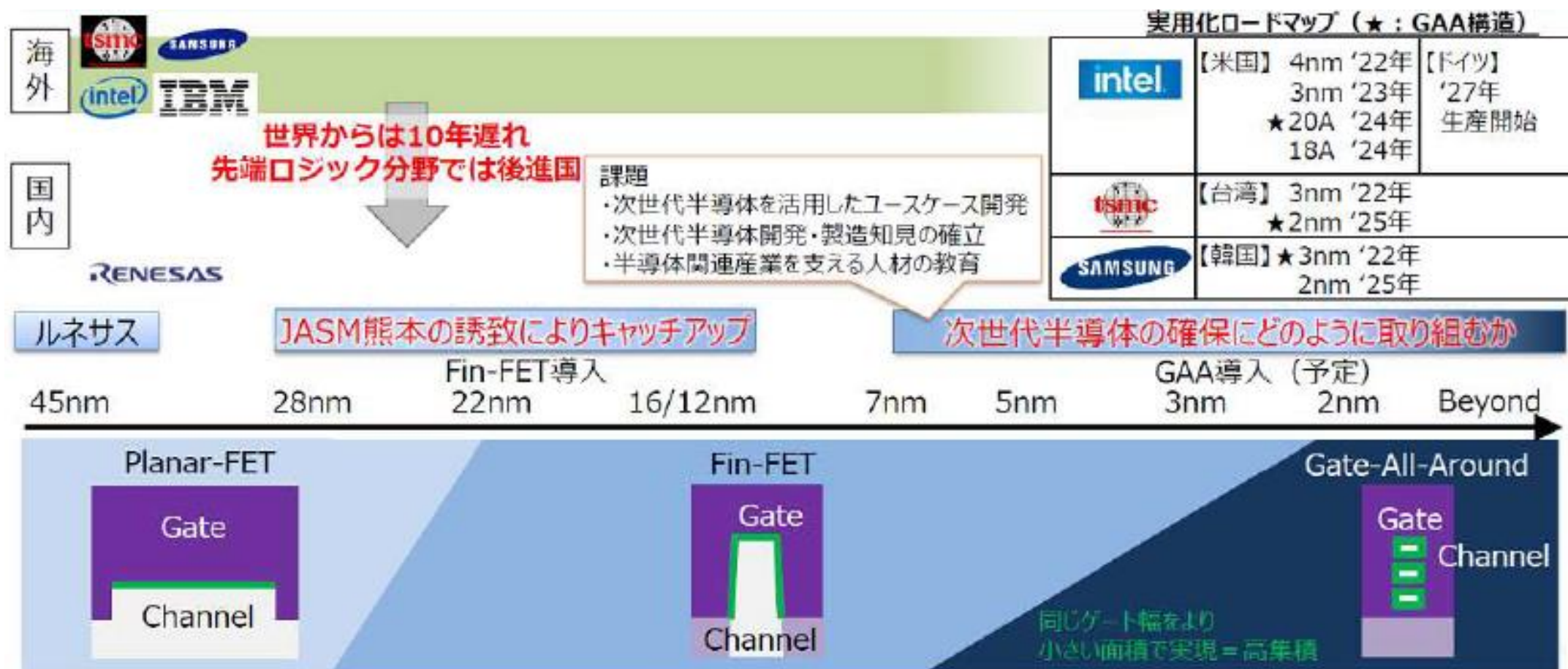
このような半導体を材料に用いた製品(トランジスタや集積回路(多数のトランジスタなどを作り込み配線接続した回路))も、一般的に『半導体』と呼ばれている。

半導体は**情報の記憶、数値計算、論理演算などの知的な情報処理機能により、電子機器や装置の頭脳部分**として中心的役割をはたすもの。



# 次世代半導体とは

次世代半導体は、微細化等の技術により、情報処理能力がより一層高められた半導体であり、量子、AIなどさまざまな分野に大きなイノベーションをもたらす中核技術。



出所: 経済産業省「半導体政策について 2023年3月」

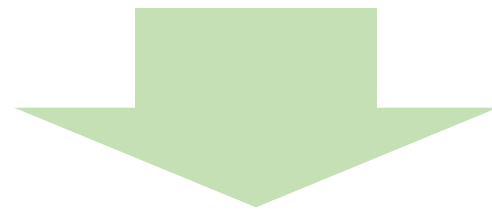
世界の半導体市場の規模は、2020年の約50兆円から、2030年には約100兆円に成長すると見込まれている。

国では、経済安全保障の要でもある半導体に、官民の投資を集め、次世代半導体の技術開発・量産化を進めていくとしている。

# Rapidus

ラピダス：ラテン語で「速い」の意味

2025年 試作ライン完成




2020年代後半 量産製造開始



# 道としては、ラピダス社の 製造・研究・人材育成等の複合拠点の 北海道での実現を支援



# 本道立地決定までの経過

	ラピダス（株）	道
R 4 11 / 11	<p>次世代半導体の製造基板の確立に向けた 国の研究開発プロジェクトに採択</p>	<p>情報収集等</p> 
R 5 2 / 16	<p>多くの地域より立地要請</p>	<p>知事がラピダス（株）を訪問し、 社長に本道立地を要請</p>
2 / 28	<p>社長が来庁し、 知事に北海道千歳市への立地を表明</p> <p>「ほっかいどう応援団会議」参加</p>	

2023年2月28日

報道機関各位

Rapidus 株式会社

## Rapidus、最先端半導体工場の建設予定地として、北海道千歳市を選定

Rapidus 株式会社（本社：東京都千代田区麹町4丁目1番地、代表取締役社長：小池淳義）は、新たに建設する最先端半導体工場の建設予定地として、北海道千歳市を選定することを決めました。

今後、政府の予算承認を経て、具体的な準備を始めます。

Rapidus は、昨年12月にIBMとの共同開発パートナーシップ締結を発表しました。これに基づきIBMの画期的な2ナノメートル（nm）ノード技術のさらなる開発を共同で推進して、今回決定した製造拠点に導入していきます。

工場は、2025年に試作ライン、2020年代後半に量産ラインを立ち上げることを目標としています。

代表取締役社長の小池淳義は、「北海道千歳市は、水、電力等のインフラに加えて、自然環境との調和においても、半導体の生産に最適であり、また、研究者や工場で働く従業員にとっても、充実した生活を営んでもらえる環境が整っている。グローバルでの人材交流やエコシステムの発展等、中長期的なポテンシャルがある点を踏まえ、工場の予定地として選ばせていただいた。今後、政府による計画や予算の承認を経て、具体的に千歳市とも話し合いを始めていきたい。」と述べています。

### Rapidus 株式会社について

本社：東京都千代田区麹町4丁目1番地

設立：2022年8月10日

経営陣：取締役会長 東哲郎、代表取締役社長 小池淳義

事業内容：半導体素子、集積回路等の電子部品の研究、開発、設計、製造及び販売等

資本金等：73億4,600万円（2022年11月時点。資本準備金の額を含む。）

〈報道関係者の問い合わせ先〉

クレアブ株式会社

安江邦彦 [kyasue@kreab.com](mailto:kyasue@kreab.com) TEL070-1356-2500

奥本孝乃 [tokumoto@kreab.com](mailto:tokumoto@kreab.com) TEL070-4272-0745

高橋茜 [atakahashi@kreab.com](mailto:atakahashi@kreab.com) TEL090-1698-4359



令和5年2月28日、Rapidus 社が、北海道千歳市に  
世界最先端・最高水準の半導体製造拠点の立地を表明

### 立地表明に係る知事コメント

令和5年2月28日（火）

この度、Rapidus 株式会社が、最先端半導体工場の建設予定地として、北海道千歳市を選定することを決定されました。

今月16日、私から小池社長に対して本道への立地を要請したところ、本道の立地優位性や道の政策、さらには熱意を評価いただき、北海道への立地を早急にご英断いただきました。

東会長、小池社長をはじめ関係者の皆様に深く感謝申し上げます。また、この決定を契機に、北海道に貢献していきたいとのご意向により、「ほっかいどう応援団会議」への参加もいただき、重ねて感謝申し上げます。

Rapidus 株式会社が技術開発・量産製造を目指す最先端半導体は、量子、AIなどを含むさまざまな分野で大きなイノベーションをもたらし、我が国の半導体産業の再興・発展、デジタル化や、本道の「ゼロカーボン北海道」と我が国のカーボンニュートラル、更には経済安全保障の鍵となる極めて重要な中核技術です。

また、製造に加え、研究、人材育成等が一体となった複合拠点の立地の実現により、道が振興してきた、ものづくり・デジタル産業の飛躍はもとより、世界中から研究者や技術者が集うデジタル人材拠点の形成につながることを期待できます。

道としては、「メイドイン北海道」の世界最先端・最高水準の技術を世界に届け、研究開発や人材育成など、最先端半導体の中心的な拠点整備が、本道において円滑に進められるよう、国や千歳市とも密接に連携してまいります。

北海道知事 鈴木直道



## 千歳美々ワールドの概要（千歳市）

### 【周辺図】



### 【特徴】

新千歳空港まで4キロメートルと近く、ものづくりやICTなどの最先端技術を学ぶ公立千歳科学技術大学が近接。研究開発型企業の立地に最適。

# 今後の対応

- **今後、ラピダス社や千歳市と協議を進め、立地に向けた具体的な課題の抽出や把握を行い、必要な支援策を検討**
- **検討に向けた支援体制については、今回設置の推進本部に加え、国や千歳市等との連絡会議を設置するとともに、経済団体や企業等との連携は、北海道企業誘致推進会議の枠組みを活用し、連携体制を構築**

# 次世代半導体産業立地の支援に向けた連携体制（イメージ）

## 課題

- ・工業用地、用水、エネルギー等のインフラ整備
- ・人材育成確保、教育、住居等



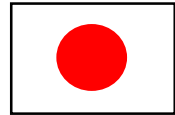
## スケジュール

- 2022年2月28日 立地表明
- 2025年 試作ライン立ち上げ
- 2020年代後半 量産製造ライン立ち上げ



## 北海道次世代半導体産業立地推進連携会議 (国、道、千歳市の連携体制)

国



北海道経済産業局  
北海道労働局  
北海道開発局  
北海道地方環境事務所

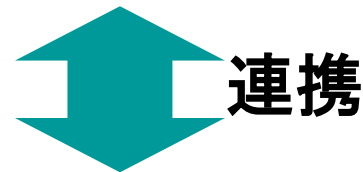


北海道

## 北海道次世代半導体産業立地推進本部 (知事をトップとした全庁推進体制)



千歳市



## 北海道企業誘致推進会議 (経済団体や民間等との情報共有体制)

経済団体

民間

分譲事業主体

行政等